

高齢者実態調査（５）介護支援専門員調査

現設問数 5 0 問 削除予定設問数 6 問 追加予定設問 4 問

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
1		(1) 調査回答者の基本属性	問1	調査回答者の年齢	あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。 2022年6月30日現在でお答えください。(○はひとつ)	1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 5 60歳代 6 70歳以上	属性調査						
2		(1) 調査回答者の基本属性	問2 (ア)	介護支援専門員の経験年数	あなたの2022年6月30日現在での、介護支援専門員業務の従事状況についてお答えください。 (ア) 介護支援専門員業務に従事してどれくらいの経験がありますか。前職も含めた合計期間でお答えください。(○はひとつ)	1 6か月未満 2 6か月以上1年未満 3 1年以上3年未満 4 3年以上5年未満 5 5年以上	この設問は介護支援専門員業務経験年数について問う設問です。 他の設問とクロス集計を行うことで、業務経験年数による傾向を把握し、事業実施の検討に活用することが可能になります。	「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」において、国及び地方公共団体は高齢者虐待にかかる通報義務等について必要な広報その他啓発活動を行うこととされており、本市においては高齢者虐待防止の取り組みの推進事業において、広報及び啓発のための取組を進めています。他の設問とクロス集計を行うことで、業務経験年数による傾向を把握し、事業の効果を一定測定し、対象者等の見直しの検討が可能となります。					
3		(1) 調査回答者の基本属性	問2 (イ)	現在の職場の勤務期間	現在の職場（介護支援専門員業務）の勤務期間をお答えください。(○はひとつ)	1 6か月未満 2 6か月以上1年未満 3 1年以上3年未満 4 3年以上5年未満 5 5年以上	介護支援専門員の定着性を確認します。	・計画策定の基礎資料 ・ケアプランチェックに係る調査員の処遇検討等					
4		(1) 調査回答者の基本属性	問2 (ウ)	現在の年収	あなたの現在の年収をお答えください。(○はひとつ)	1 250万円未満 2 250万円以上300万円未満 3 300万円以上350万円未満 4 350万円以上400万円未満 5 400万円以上450万円未満 6 450万円以上500万円未満 7 500万円以上	介護支援専門員の処遇について確認します。	ケアプランチェックに係る調査員の処遇検討等					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
5		(1) 調査回答者の 基本属性	問2 (エ)	現在の勤務先	現在の勤務先（所在地） をお答えください。（○はいくつでも）	1 北区 2 都島区 3 福島区 4 此花区 5 中央区 6 西区 7 港区 8 大正区 9 天王寺区 10 浪速区 11 西淀川区 12 淀川区 13 東淀川区 14 東成区 15 生野区 16 旭区 17 城東区 18 鶴見区 19 阿倍野区 20 住之江区 21 住吉区 22 東住吉区 23 平野区 24 西成区	属性調査	他の設問とのクロス集計 を行い、区別の特徴を把握 します。					
6		(1) 調査回答者の 基本属性	問2 (オ)	介護支援専門員として働き 始めてからの事業所数	あなたが勤務している居 宅介護支援事業所は、介 護支援専門員として働き 始めてから何か所目の事 業所ですか。（人事異動 等による同一法人内での 勤務地の変更を除きま す）	() か所目	介護支援専門員の定着 性を確認します。	計画策定の基礎資料 介護人材の確保について 検討します。					
7		(1) 調査回答者の 基本属性	問2 (カ)	勤務していた事業所 を辞めた理由	(オ)で「2か所目」以上 と答えられた方におうか がいします。 以前、勤務していた居宅 介護支援事業所を辞めら れた理由は何ですか。 (○はいくつでも)	1 自分の力量について、不安 があったから 2 職員同士の関係がうまくい かなかったから 3 賃金が低かったから 4 残業が多かったから 5 事業所への不満・不信等 6 兼務業務が忙しく、ケアマ ネ業務の時間が取れなかった から 7 休日・休暇が取れなかった から 8 職場までの通勤に時間が かかったから 9 事業所の閉鎖（新型コロナ ウイルス感染症の影響による ものを除く） 10 新型コロナウイルス感染 症の影響により事業所が閉鎖 されたため 11 その他	介護支援専門員の定着 性を確認します。	計画策定の基礎資料 介護人材の確保について 検討します。		・選択肢9の括弧書きを 削除 ・選択肢10を削除	新型コロナウイルス感染 症に関する選択肢のため		
8		(1) 調査回答者の 基本属性	問2 (キ)	勤務先の介護支援 専門員数	あなたが勤務している居 宅介護支援事業所の介 護支援専門員の人数は、 何人ですか。	() 人	属性調査	他の設問とのクロス集計 を行い、介護支援専門員 数別の特徴を把握しま す。					

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
9		(1) 調査回答者の基本属性	問3	保健医療福祉関係の資格	あなたは、介護支援専門員以外に保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(○はいくつても)	1 医師 2 歯科医師 3 薬剤師 4 看護師・准看護師 5 保健師 6 助産師 7 理学療法士 8 作業療法士 9 歯科衛生士 10 栄養士・管理栄養士 11 柔道整復師 12 社会福祉士 13 介護福祉士 14 精神保健福祉士 15 社会福祉主事 16 旧ホームヘルパー()級 17 その他	属性調査	ケアマネジメントの質の向上や、スキルアップなどに活用します。					
10		(1) 調査回答者の基本属性	問4	主任介護支援専門員の資格	あなたは、主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。(○はひとつ)	1 あり → (取得年月日：平成・令和 年 月 日) 2 なし	属性調査	ケアプランチェックに係る調査員の処遇検討等					
11		(1) 調査回答者の基本属性	問5	勤務先事業所の設置主体	あなたが勤務している居宅介護支援事業所の設置主体についておうかがいします。(○はひとつ)	1 社会福祉協議会 2 社会福祉法人(社協以外) 3 医療法人 4 NPO法人 5 生協・農協 6 営利法人(株式会社・その他等) 7 財団法人・社団法人 8 その他	属性調査	他の設問とのクロス集計を行い、設置主体別の特徴を把握します。					
12		(1) 調査回答者の基本属性	問6	勤務形態	あなたの勤務形態と勤務日数及び時間帯は、次のうちどれですか。非常勤の場合は週あたりの時間をご記入ください。(○はひとつ)	1 常勤・専従 2 非常勤・専従(週間) 3 常勤・兼務 4 非常勤・兼務(週間)	介護支援専門員の勤務状況について確認します。	計画策定の基礎資料 処遇とのクロス集計を行い、介護人材の確保について検討します。					
13		(2) 担当している利用者の状況	問7	担当利用者について	あなたが担当している利用者等についておうかがいします。担当する利用者や件数がない場合は「0」と記入してください。	介護支援専門員調査_調査票 P4 参照	担当している利用者について確認します。	計画策定の基礎資料 介護現場の生産性の向上について検討します。					
14		(2) 担当している利用者の状況	問8	要介護度別利用者の割合	問7(1)で記入された利用者の要介護度別の内訳人数をお答えください。なお、新規・更新・区分変更中の方については「その他」に計上してください。	介護支援専門員調査_調査票 P4 参照	削除検討設問					計画策定に特に必要なく、クロス集計にも使用していないため。	

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
15		(2) 担当している利用者の状況	問8-1	住まい別利用者の割合	問8で記入された利用者のお住まいについて、住まい別の内訳人数をお答えください。	介護支援専門員調査_調査票P5 参照	担当している利用者について確認します。	計画策定の基礎資料 介護保険サービスの質の向上と確保について検討します。	問7(1)で記入された利用者のお住まいについて、住まい別の内訳人数をお答えください。 ※問8を削除する場合				
16		(2) 担当している利用者の状況	問8-2	利用者にかかる医療的な処置等の状況	問7(1)で記入された利用者にかかる医療的な処置等について、人数内訳と種類をお答えください。	介護支援専門員調査_調査票P5 参照	この設問は医療的な処置等の状況を問う設問です。 在宅医療の需要の把握が可能になります。	在宅医療の需要を把握するとともに他の設問とクロス集計を行うことで今後さらに取り組むべき施策の検討に活用します。					
17		(2) 担当している利用者の状況	問8-3	終末期を在宅で迎える利用者数	問7(1)で記入された利用者のうち、終末期を在宅で迎える方をどれくらい担当していますか。	() 人	この設問は在宅看取りの状況を問う設問です。 人生会議（ACP）の普及・啓発方法の検討が可能になります。	他の設問とクロス集計を行うことで介護支援専門員に対する人生会議（ACP）の普及・啓発方法の検討に活用します。					
18		(3) サービス内容と課題	問9	量的に不足しているサービス	事業所数もしくは定員など、量的に不足していると思われるサービスはありますか。（〇はいくつでも）	1 訪問介護 2 生活援助型訪問介護サービス 3 訪問入浴介護 4 訪問看護 5 訪問リハビリテーション 6 通所介護 7 通所リハビリテーション 8 福祉用具貸与 9 短期入所生活介護 10 短期入所療養介護 11 夜間対応型訪問介護 12 認知症対応型通所介護 13 小規模多機能型居宅介護 14 看護小規模多機能型居宅介護 15 介護老人福祉施設 16 地域密着型介護老人福祉施設 17 介護老人保健施設 18 介護療養型医療施設 19 介護医療院 20 認知症対応型共同生活介護 21 特定施設入居者生活介護 22 地域密着型特定施設入居者生活介護 23 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス） 24 居宅療養管理指導 25 その他	量的に不足しているサービスについて確認します。	サービス提供体制の検討にかかる基礎資料	1 訪問介護 2 生活援助型訪問介護サービス 3 訪問入浴介護 4 訪問看護 5 訪問リハビリテーション 6 通所介護 7 通所リハビリテーション 8 福祉用具貸与 9 短期入所生活介護 10 短期入所療養介護 11 夜間対応型訪問介護 12 認知症対応型通所介護 13 小規模多機能型居宅介護 14 看護小規模多機能型居宅介護 15 介護老人福祉施設 16 地域密着型介護老人福祉施設 17 介護老人保健施設 18 介護療養型医療施設 19 18 介護医療院 20 19 認知症対応型共同生活介護 21 20 特定施設入居者生活介護 22 21 地域密着型特定施設入居者生活介護 23 22 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス） 24 23 居宅療養管理指導 25 24 その他	介護療養型医療施設の削除			
19		(3) サービス内容と課題	問9-1	量的に不足しているサービスを選んだ理由（自由記述）	量的に不足しているサービスで1～25を選んだ理由（自由記述）	（自由記載）	量的に不足しているサービスについて確認します。	サービス提供体制の検討にかかる基礎資料					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
20	○	(3) サービス内 容と課題		訪問介護サービス	訪問介護のサービスは、 他都市に比べて、多くの 方が利用されています が、その理由はどのよう なことだと思われますか。 (○はいくつでも)	1 施設へ入所せず、在宅介護 を希望する方が多い 2 単身(ひとり暮らし)の方が 多い 3 介護者の負担を軽減するた め、利用を希望する方が多い 4 訪問介護事業所が他都市 より多い 5 入所できる高齢者向け施設 が少ない 6 施設へ入所するための手続 きの負担が大きい 7 施設へ入所するための費用 の負担が大きい 8 その他	訪問介護サービスの需要 状況を把握します。	サービス提供体制の検討 にかかる基礎資料					
21		(3) サービス内 容と課題	問10	介護保険以外の サービス作成状況	2022年6月30日現在 であなたが担当している 利用者のケアプランで、 大阪市の介護保険外 サービス、ボランティアな どのインフォーマルサービ スを組み合わせて作成し たものはありますか。あれ ばその人数を記入してく ださい。(○はひとつ)	1 ある → () 人 2 ない	担当している利用者のイン フォーマルサービスの 利用について確認しま す。	サービス提供体制の検討 にかかる基礎資料					
22		(3) サービス内 容と課題	問10-1	介護保険サービス 以外のサービス利 用内容	該当する介護保険外サー ビス・インフォーマルサー ビスについて○で囲み、 利用者の人数を記入して ください。(○はいくつで も)	介護支援専門員調査_調査票 P7 参照	担当している利用者のイン フォーマルサービスの 利用について確認しま す。	サービス提供体制の検討 にかかる基礎資料					
23		(3) サービス内 容と課題	問11	充実が必要だと思 う介護保険外のサ ービス(自由記述)	今後充実が必要だと思 う介護保険外サービスにつ いて、ご自由にご記入し てください。	(自由記載)	インフォーマルサービスの 充実について確認しま す。	サービス提供体制の検討 にかかる基礎資料					
24		(3) サービス内 容と課題	問12	栄養・食生活上の課 題	在宅療養者の栄養・食生 活上の課題についておう かがいします。 対象者が多い項目には 「1」を、対応に苦慮する 項目には「2」を()内に 記入してください。(「1」 「2」の併記可)	介護支援専門員調査_調査票 P8 参照	利用者の栄養・食生活上 の課題を確認します。	計画策定の基礎資料 保健事業と介護予防の 一体的な実施や健康づく りの推進について検討し ます。					
25		(3) サービス内 容と課題	問13	栄養・食生活支援を 実施するにあたり 困っていることの有 無	栄養・食生活支援を実施 する上での相談体制につ いて、おうかがいします。 栄養・食生活支援を実施 するにあたり、困っている ことはありますか。(○は ひとつ)	1 ある 2 ない	介護支援専門員の栄養・ 食生活支援での困りごと を確認します。	計画策定の基礎資料 保健事業と介護予防の 一体的な実施や健康づく りの推進について検討し ます。					

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
26		(3) サービス内容と課題	問13-I	栄養・食生活支援で困っていること (自由記述)	困っていることを具体的に記入してください。	(自由記載)	介護支援専門員の栄養・食生活支援での困りごとを確認します。	計画策定の基礎資料 保健事業と介護予防の一体的な実施や健康づくりの推進について検討します。					
27		(3) サービス内容と課題	問14	栄養・食生活支援の対応に悩んだ時の相談先の有無	栄養・食生活支援の対応に悩んだ時の相談先はありますか。(○はひとつ)	1 ある 2 ない	介護支援専門員の栄養・食生活支援での困りごとを確認します。	計画策定の基礎資料 保健事業と介護予防の一体的な実施や健康づくりの推進について検討します。					
28		(3) サービス内容と課題	問14-I	栄養・食生活支援の対応に悩んだ時の相談先	相談先は、どこ(誰)ですか。(○はいくつても)	1 施設内の介護支援専門員 2 訪問看護ステーションの認定看護師 3 系列施設の管理栄養士 4 その他	介護支援専門員の栄養・食生活支援での困りごとを確認します。	計画策定の基礎資料 保健事業と介護予防の一体的な実施や健康づくりの推進について検討します。					
29		(3) サービス内容と課題	問15	サービス事業所に関する情報収集方法	サービス事業所に関する情報はどこから得ていますか。(○はいくつても)	1 サービス事業所のパンフレット等 2 サービス事業所のホームページ 3 介護サービス情報公表システム 4 地域包括支援センター 5 居宅介護支援事業者連絡会 6 介護支援専門員同士の情報交換・ロコミ 7 他のサービス事業所の営業活動 8 利用者からの情報や意見・要望 9 区役所が発行する支援マップ等 10 ハートページ 11 在宅医療・介護連携相談支援室 12 その他 13 特に情報収集をおこなっていない	削除検討設問				事業の進捗管理を行う上で活用しないため。		

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
30		(3) サービス内 容と課題	問16	医療に関する情報 収集方法	ケアプランの作成にあ たって、医療に関する情 報収集をどのようにおこ なっていますか。(○はい くつても)	1 主治医の意見書 2 意見書を記載した主治医に 対する電話・面談・文書連絡 等 3 意見書を記載した主治医以 外のかかりつけ医に対する電 話・面談・文書連絡 等 4 利用者の受診・入退院時に 同行 5 病院内の地域医療連携室 (医療相談担当スタッフ) 6 家族を通じて医師に指示を 確認 7 医療スタッフ等とのカンファ レンス 8 その他 9 特に情報収集をおこなっ ていない	医療に関する情報収集の 方法を確認します。	計画策定の基礎資料 ケアマネジメントの質の 向上や地域包括ケアシ ステムの推進について検討 します。					
31		(3) サービス内 容と課題	問17	地域他職種・他機 関との連携	医療と介護の連携につい ておうかがいします。貴事 業所は、地域他職種・ 他機関と、全般的に、ど のくらい連携(連絡、相 談、調整、意見交換、情 報、共有等)できていると 思いますか。(○はひと つ)	1 連携できている 2 やや連携できている 3 あまり連携できていない 4 連携できていない	この設問は地域における 介護支援専門員と多職 種の連携を問う設問で す。 連携度を把握するととも に多職種連携のための 研修会等の対応策の検 討が可能になります。	事業の進捗管理を行うた めの評価指標として活用 します。					
32		(3) サービス内 容と課題	問18	医療機関と連携する うえでの工夫	医療機関(かかりつけ医 等)と連携するうえでどの ような工夫をおこなって いますか。(○はいくつで も)	1 かかりつけ医毎の連絡方法(時間 帯等)の把握 2 サービス担当者会議毎にかかり つけ医の出席しやすい日時を設定して いる 3 ケアプラン作成・変更時にケアプ ランを利用者の医療機関(かかりつけ医 等)に届ける(利用者の同意を得てお こなう) 4 医療機関の受診への同席や入退院 時のカンファレンスに参加 5 他職種連携のための事例検討会や 連絡会などへの参加 6 地域の医師や介護支援専門員など の団体で決めた連絡方法(ケアマネタ ームなど)の活用 7 医療・介護連携シートを使用 8 地域包括支援センターと相談しな がら連携 9 訪問看護ステーションと相談しな がら連携 10 その他 11 特に何もしていない	この設問は医療機関等と の連携方法を問う設問で す。 医療と介護の連携の推進 の検討が可能になりま す。	医療側と介護側の連携 方法について把握すると ともに今後の情報共有方 法の検討に活用します。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
33		(3) サービス内 容と課題	問19	在宅医療・介護連 携の推進のために 必要なこと	在宅医療・介護連携の推 進のために必要だと考え ることについておうかが いします。(必要性の高い ものから順に3つまで○)	1 関係機関のリスト・連絡先等の提供 2 現状・課題、対応策を検討・共有す る協議の場 3 連携で困ったときに相談できる窓口 4 各施設・職種の役割について理解 を深める機会 5 介護側のための医療知識の習得・ 向上の機会 6 医療側のための介護知識の習得・ 向上の機会 7 情報共有ツール(シート等)の統一 8 在宅医療にかかる負担の軽減(主 治医・副主治医の導入など) 9 在宅医療にかかる施設基準の緩和 10 診療報酬・介護報酬の評価(増 額) 11 患者・家族の在宅療養に関する普 及・啓発 12 その他 13 特になし	この設問は在宅医療と介 護の連携を推進するた めの課題を把握するための 設問です。 課題を把握し必要な施策 の検討が可能になりま す。	事業の進捗管理を行うた めの評価指標として活用 します。					
34		(3) サービス内 容と課題	問20	病院・施設等を入退 所する利用者の担 当経験の有無	この1年間に病院・介護 保険施設等に入院・入 所、または、病院・介護保 険施設等を退院・退所す る利用者を担当したこと がありましたか。(○はひ とつ)	1 はい (入院・入所:延 人、退院・退所:延 人) 2 いいえ	担当する利用者を確認し ます。	計画策定の基礎資料 在宅医療・介護連携の推 進について検討します。					
35		(3) サービス内 容と課題	問20-1	入退所する病院・施 設等との連携	入院・入所又は退院・退 所する病院・施設と入院・ 入所時、退院・退所時に 連携をとりましたか。ひと りでも連携をとった場合 は「はい」、まったくなら なかった場合は「いいえ」と してください。 また、「はい」と答えられ た方は、延べ何人の方 に、病院・施設とどのよ うな連携をとりましたか。 (○はいくつでも)	介護支援専門員調査_調査票 P12 参照	病院・施設等との連携状 況を確認します。	計画策定の基礎資料 在宅医療・介護連携の推 進について検討します。 事業の進捗管理を行うた めの評価指標として活用 します。					
36		(3) サービス内 容と課題	問20-2	病院・施設との連携 のための加算請求 の有無	病院・施設との連携のた めの加算を請求しまし たか。(○はひとつ) 「はい」と答えられた方 は、加算の種類をお答え ください。 (あてはまるものすべてに ○)	1 はい 2 いいえ 1 入院時情報連携加算(Ⅰ) 2 入院時情報連携加算(Ⅱ) 3 退院・退所加算 4 通院時情報連携加算 5 緊急時等居宅カンファレン ス加算 6 ターミナルケアマネジメント 加算 7 特定事業所医療介護連携 加算	病院・施設等との連携 のための加算についての状 況を確認します。	計画策定の基礎資料 在宅医療・介護連携の推 進について検討します。 事業の進捗管理を行うた めの評価指標として活用 します。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
37		(3) サービス内 容と課題	問20-3	退院・退所の際に 困ったことの有無	医療機関や施設などから 退院や退所する際に困っ たことはありましたか。 (○はひとつ)	1 はい 2 いいえ	この設問は入退院時の連 携について問う設問で す。 連携状況を把握すると もに多職種連携のための 研修会等の対応策の検 討が可能になります。	入退院時の連携状況を 把握するとともに課題を 把握し多職種連携のため の研修会等の対応策の 検討に活用します。					
38		(3) サービス内 容と課題	問20-4	退院・退所の際に 困ったこと(自由記 述)	困ったことを具体的に記 入してください。(自由記 載)	(自由記載)	この設問は入退院時の連 携について問う設問で す。 連携状況を把握すると もに多職種連携のための 研修会等の対応策の検 討が可能になります。	入退院時の連携状況を 把握するとともに課題を 把握し多職種連携のため の研修会等の対応策の 検討に活用します。					
39		(3) サービス内 容と課題	問21	在宅で医療的な処 置を必要とする支 援で困っていること	在宅で医療的な処置を 必要とする方の支援を行 ううえで、困っているこ とについておうかがいま す。(○はそれぞれひと つ)	介護支援専門員調査_調査票 P13, I4 参照	この設問は医療的な処置 等の状況を問う設問で す。 在宅医療の課題の把握 が可能になります。	介護支援専門員における 在宅医療の課題を把握 するとともに他の設問とク ロス集計を行うことで今 後さらに取り組むべき施 策の検討に活用します。					
40		(3) サービス内 容と課題	問22	在宅医療を進めて いくうえで必要な社 会資源	在宅医療を進めていく うえで必要な社会資源に ついておうかがいます。 (○はそれぞれひとつ)	介護支援専門員調査_調査票 P14 参照	この設問は必要な地域資 源を問う設問です。 在宅医療の充実に向け た医療・介護資源の把握 が可能になります。	介護支援専門員における 在宅医療の課題を把握 するとともに他の設問とク ロス集計を行うことで今 後さらに取り組むべき施 策の検討に活用します。					
41		(3) サービス内 容と課題	問23	自宅での生活を継 続するのに苦慮する 課題	在宅医療が必要な利用 者に対するケアマネジメ ントをする中で、自宅での 生活を継続するのに苦慮 する課題についておうか がいます。(○はそれぞ れひとつ)	介護支援専門員調査_調査票 P14, I5 参照	この設問は在宅医療を継 続するにあたっての課題 を問う設問です。 在宅医療の充実に向け た課題の把握が可能に なります。	介護支援専門員における 在宅医療の課題を把握 するとともに他の設問とク ロス集計を行うことで今 後さらに取り組むべき施 策の検討に活用します。		(7)医療的措置 →(7)医療的処置	文言の訂正		
42		(3) サービス内 容と課題	問24	ACP(人生会議)の 実施状況	介護支援専門員業務に おいて、ACP(人生会 議)を実施していますか。	1 知っており、実施をしたこと がある 2 知っているが、実施をしたこ とはない 3 知らなかったが、今後は実 施をしたいと思う 4 知らなかったが、今後も実 施はしないと思う	この設問は人生の最終段 階についての話し合いの プロセスである人生会議 の実施状況について問う 設問です。 人生会議(ACP)の普 及・啓発方法の検討が可 能になります。	他の設問とクロス集計を 行うことで介護支援専門 員に対する人生会議 (ACP)の普及・啓発方 法の検討に活用します。					
43	○	(3) サービス内 容と課題		ACP(人生会議)の 実施状況)の実施に おける課題	意思決定支援やACPの 実施において、貴施設で 課題だと考えることにつ いておうかがいます。 (○はそれぞれひとつ)	(表形式のため別シート参照)	この設問は人生の最終段 階についての話し合いの プロセスである人生会議 の実施にかかる課題につ いて問う設問です。 人生会議(ACP)の普 及・啓発方法の検討が可 能になります。	他の設問とクロス集計を 行うことで介護支援専門 員に対する人生会議 (ACP)の普及・啓発方 法の検討に活用します。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択 肢修正の理由	削除理由	備考
44		(3) サービス内 容と課題	問25	在宅での看取りに おける課題	ケアマネジメントをする中 で、在宅での看取りにお いて、課題だと考えること についておうかがいしま す。(〇はそれぞれひと つ)	介護支援専門員調査_調査票 P15 参照	この設問は介護支援専門 員がケアマネジメントを する中で在宅看取りにお ける課題を問う設問で す。 在宅医療の充実に向け た課題の把握が可能に なります。	介護支援専門員における 在宅看取りの課題を把握 するとともに他の設問とク ロス集計を行うことで今 後さらに取り組むべき施 策の検討に活用します。		(6)緩和ケア等医療的措 置 →(6)緩和ケア等医療的 処置	文言の訂正		
45		(3) サービス内 容と課題	問26	在宅医療・介護連 携相談支援室の認 知度・利用状況	各区にある「在宅医療・ 介護連携相談支援室」に ついておうかがいします。 (〇はひとつ)	1 知っており、実際に相談・連 携したことがある 2 知っているが、実際に相談・ 連携をしたことはない 3 知らなかったが、今後は相 談・連携したいと思う 4 知らなかったし、今後も相 談・連携しないと思う	この設問は在宅医療・介 護連携相談支援室の活 用を問う設問です。 認知度を把握することで 今後の周知・啓発方法を 検討するとともに事業の あり方の検討が可能にな ります。	事業の進捗管理を行うた めの評価指標として活用 します。					
46	○	(3) サービス内 容と課題		在宅医療連携拠点 の相談支援室の認 知度・利用状況	第8次医療計画におい て、在宅医療に必要な連 携を担う拠点を位置づけ ることになりました。 2024年度より設置され た、大阪市「在宅医療連 携拠点の相談支援室」に ついての認知と利用実績 についてお伺いします。 (〇はひとつ)	1 知っており、実際に相談・連 携したことがある 2 知っているが、実際に相談・ 連携をしたことはない 3 知らなかったが、今後は相 談・連携したいと思う 4 知らなかったし、今後も相 談・連携しないと思う	この設問は在宅医療連携 拠点の相談支援室の活 用を問う設問です。 認知度を把握することで 今後の周知・啓発方法を 検討するとともに事業の あり方の検討が可能にな ります。	事業の進捗管理を行うた めの評価指標として活用 します。					
47		(3) サービス内 容と課題	問27	サービス担当者会 議の開催にあたり 困難と感じているこ と	サービス担当者会議の開 催にあたり、困難と感じ ていることは何ですか。 (〇はいくつでも)	1 自分の日程調整 2 主治医との日程調整 3 サービス事業所との日程調 整 4 利用者の出席 5 家族の出席 6 会場の確保 7 資料づくり 8 会議の進め方に不安があ ること 9 他の施策分野との連携 10 その他	削除検討設問					事業の進捗管理を 行う上で活用しない ため。	
48		(3) サービス内 容と課題	問28	サービス担当者会 議における各職種 への出席要請	サービス担当者会議にお ける、各職種への出席要 請に関する方針について おうかがいします。(〇は それぞれひとつ)	介護支援専門員調査_調査票 P16 参照	この設問はサービス担当 者会議への多職種の参 画状況を問う設問です。 多職種連携のための研 修会等の対応策の検討 が可能になります。	事業の進捗管理を行うた めの評価指標として活用 します。		項番(7)以降を次のとお り変更 (7)リハビリ職 (PT/OT/ST) (8)管理栄養士 (9)地域包括支援セン ター	在宅におけるリハビリ職、 栄養士の重要性が増して おり、サービス担当者会 議への出席を確認する必 要があるため。なお、当 課の医療施設等アンケー ト調査においても、同様 の変更を実施。		

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
49		(3) サービス内 容と課題	問29	サービス担当者会 議の開催にあたり 工夫していること	サービス担当者会議の開 催にあたり、担当者への 聴取や調整等で、工夫し ている点があれば教えて ください。(〇はいくつで も)	1 電話やFAX・メールで照会 や打ち合わせを実施している (参加が難しい場合や会議の 事前連絡等) 2 利用者が通院する際やサー ビス担当者の訪問時間に合わ せて同席する 3 会議の出席が難しい場合 は、主治医・事業所に対し個別 に訪問し意見聴取している 4 リモートでの開催を実施し た(テレビ会議) 5 その他 6 特になし	サービス担当者会議の開 催にかかる工夫を確認し ます。	計画策定の基礎資料 ケアマネジメントの質の 向上について検討しま す。					
50		(3) サービス内 容と課題	問30	成年後見制度の認 知度	あなたは、成年後見制度 事業を知っていますか。 (〇はひとつ)	1 知っている 2 知らない	この設問は成年後見制度 について介護支援専門 員の認知度を問うもので あり、認知度を把握する ことで効果的な啓発方法 及び対象者の検討が可 能となります。なお、介護 支援専門員及び関係事 業者を対象とした調査に おいて、他に同様の設問 は存在せず、制度に関し て介護支援専門員の認 知度を把握可能な物は、 当該調査の当該設問以外 にありません。	「成年後見制度の利用の 促進に関する法律」にお いて、地方公共団体はそ の地域の特性に応じた施 策を策定、実施すること されており、本市におい ては、成年後見制度の利 用促進に関し、成年後見 支援センター事業におい て、普及啓発のための取 組を進めています。設問 により介護支援専門員の 認知度を把握し、事業の 効果を一定測定し、見直 しの検討が可能となりま す。					
51		(3) サービス内 容と課題	問30-1	成年後見制度の利 用意向	【問30で「1 知ってい る」と回答された方にお うかがいます。】あなた は、制度対象者に成年後 見制度の利用を勧めた いですか。(〇はひとつ)	1 対象者に利用を勧めたい 2 対象者に利用を勧めたくな い 3 どちらともいえない	この設問は成年後見制度 について介護支援専門 員の対象者への利用動 機に関する意向を問うも のであり、意向を把握す ることで利用動機の妨げ となっている要因の分析 が可能となります。なお、 介護支援専門員及び関 係事業者を対象とした調 査において、他に同様の 設問は存在せず、制度に 関して介護支援専門員の 意向を把握可能な物は、 当該調査の当該設問以外 にありません。	「成年後見制度の利用の 促進に関する法律」にお いて、地方公共団体はそ の地域の特性に応じた施 策を策定、実施すること されており、本市におい ては、成年後見制度の利 用促進に関し、成年後見 支援センター事業におい て、普及啓発のための取 組を進めています。設問 により介護支援専門員の 制度に関する理解度を把 握し、事業の効果を一定 測定し、見直しの検討が 可能となります。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
52		(3) サービス内 容と課題	問30-2	成年後見制度の利 用意向	【問30-1で「2 対象者 に利用を勧めたくない」 又は「3 どちらともいえ ない」と回答された方に おうかがいします。】理由 は何ですか。(○はいくつ でも)	1 利用手続きがわからない 2 利用手続きが難しい 3 申立を行う人がいない 4 利用までに時間がかかる 5 対象者への説明が難しい 6 利用のメリットが無い 7 制度の対象者かどうかわか らない 8 その他	この設問は成年後見制度に ついて介護支援専門員の対 象者への利用勧奨の妨げと なっている要因を問うもので あり、要因を把握することで利 用勧奨の妨げとなっている要 因の解消に向けての取組が 可能となります。なお、介護支 援専門員及び関係事業者を 対象とした調査において、他 に同様の設問は存在せず、制 度に関して利用勧奨の妨げと なっている要因を把握可能な 物は、当該調査の当該問以外 にありません。	「成年後見制度の利用の 促進に関する法律」にお いて、地方公共団体はその 地域の特性に応じた施 策を策定、実施すること とされており、本市におい ては、成年後見制度の利 用促進に関し、成年後見 支援センター事業におい て、普及啓発のための取 組を進めています。設問 により介護支援専門員の 制度に関する理解度を把 握し、事業の効果を一定 測定し、見直しの検討が 可能となります。					
53		(3) サービス内 容と課題	問31	あんしんさぼーと事 業の認知度	あなたは、あんしんさぼー と事業を知っていますか。 (○はひとつ)	1 知っている 2 知らない	この設問はあんしんさ ぼーと事業について介護 支援専門員の認知度を 問うものであり、認知度を 把握することで効果的な 啓発方法及び対象者の 検討が可能となります。 なお、介護支援専門員及 び関係事業者を対象とし た調査において、他に同 様の設問は存在せず、事 業に関して介護支援専門 員の認知度を把握可能 な物は、当該調査の当該 問以外にありません。	「成年後見制度の利用の促進 に関する法律」において、地 方公共団体はその地域の特 性に応じた施策を策定、実施 することとされており、本市に おいては、成年後見制度の利 用促進に関し、成年後見支 援センター事業において、あん しんさぼーと事業から成年後 見制度への適切な移行のため の取組を進めています。設問 により介護支援専門員の認知 度を把握し、事業の効果を一 定測定し、見直しの検討が可 能となります。					
54		(3) サービス内 容と課題	問31-1	あんしんさぼーと事 業の利用意向	【問31で「1 知ってい る」と回答された方にお うかがいします。】あなた は、事業対象者にあんし んさぼーと事業の利用を 勧めたいですか。(○は ひとつ)	1 対象者に利用を勧めたい 2 対象者に利用を勧めたく ない 3 どちらともいえない	この設問はあんしんさ ぼーと事業について介護 支援専門員の対象者へ の利用勧奨に関する意向 を問うものであり、意向を 把握することで利用勧奨 の妨げとなっている要因 の分析が可能となりま す。なお、介護支援専門 員及び関係事業者を対 象とした調査において、 他に同様の設問は存在 せず、制度に関して介護 支援専門員の意向を把 握可能な物は、当該調査 の当該問以外にありませ ん。	「成年後見制度の利用の促進 に関する法律」において、地 方公共団体はその地域の特 性に応じた施策を策定、実施 することとされており、本市に おいては、成年後見制度の利 用促進に関し、成年後見支 援センター事業において、あん しんさぼーと事業から成年後 見制度への適切な移行のため の取組を進めています。設問 により介護支援専門員の事業 に関する理解度を把握し、事 業の効果を一定測定し、見直 しの検討が可能となりませ ん。					

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
55		(3) サービス内容と課題	問31-2	あんしんさぼーと事業の利用意向	【問31-1で「2 対象者に利用を勧めたくない」又は「3 どちらともいえない」と回答された方におうかがいします。】理由は何ですか。(○はいくつでも)	1 利用手続きがわからない 2 利用手続きが難しい 3 利用までに時間がかかる 4 対象者への説明が難しい 5 利用のメリットが無い 6 事業の対象者かどうかわからない 7 その他	この設問はあんしんさぼーと事業について介護支援専門員の対象者への利用動奨に関する意向を問うものであり、意向を把握することで利用動奨の妨げとなっている要因の分析が可能となります。なお、介護支援専門員及び関係事業者を対象とした調査において、他に同様の設問は存在せず、制度に関して介護支援専門員の意向を把握可能な物は、当該調査の当設問以外にありません。	「成年後見制度の利用の促進に関する法律」において、地方公共団体はその地域の特性に応じた施策を策定、実施することとされており、本市においては、成年後見制度の利用促進に関し、成年後見支援センター事業において、あんしんさぼーと事業から成年後見制度への適切な移行のための取組を進めています。設問により介護支援専門員の事業に関する理解度を把握し、事業の効果を一定測定し、見直しの検討が可能となります。					
56		(3) サービス内容と課題	問32	利用者の意思決定支援の認知度	あなたは、介護支援専門員業務を行ううえで、利用者の「意思決定支援」という言葉を知っていますか。(○はひとつ)	1 知っている 2 知らない	削除検討設問					言葉を知っているかの設問は必要ないため。	
57		(3) サービス内容と課題	問32-1	利用者の意思決定支援に対する考え方や意識	介護支援専門員業務を行ううえで、利用者の「意思決定支援」の考え方を知っていますか。また、意識していますか。(○はひとつ)	1 考え方を知っているし、意識している 2 考え方は知っているが、意識はしていない 3 考え方は知らない	利用者の意思決定支援の認知度について確認する。	計画策定の基礎資料 ケアマネジメントの質の向上について検討する。	あなたは、介護支援専門員業務を行ううえで、利用者の「意思決定支援」の考え方を知っていますか。また、意識していますか。(○はひとつ)	1 考え方を知っているし、意識している 2 考え方は知っているが、意識はしていない 3 言葉は知っているが、考え方は知らない 4 言葉も考え方も知らない	考え方までは知らないが、言葉だけ知っている場合があると考えられるため。		
58		(3) サービス内容と課題	問33	ケアプラン作成の課題	ケアプランを作成するにあたって、課題として考えているのはどのようなことですか。(○はいくつでも)	1 介護保険外サービスや地域の情報が少ないこと 2 利用者及び家族がサービスの必要性を理解していないこと 3 利用者及び家族との調整が困難なこと 4 サービス事業所を選択するにあたっての情報が足りないこと 5 区分支給限度額が低いこと 6 利用者の経済的理由でサービスが十分利用できないこと 7 介護保険サービス・大阪市の高齢者保健福祉サービスの種類が少ないこと →具体的にどのようなサービスがあればいいとお考えですか。 8 支援困難な方へのケアマネジメントの方法がわからないこと 9 利用者及び家族の意見・要望を聞き出す時間が十分にとれないこと 10 同じ経営母体のサービス事業所が提供するサービスに偏りがちになること 11 自分の力量について不安があること 12 事業所内のミーティングの時間がとりにくいこと 13 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の意向で十分なサービス量をプランに反映できない 14 新型コロナウイルス感染症の影響によるサービス事業所の休止・廃止等により調整等が難しい 15 その他	ケアプラン作成にあたっての課題を確認します。	・計画策定の基礎資料 ・ケアマネスキルアップ事業内容の検討等		選択肢13、14を削除	新型コロナウイルス感染症に関する選択肢のため		

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
59		(3) サービス内容と課題	問34	自立支援型のケアマネジメントの実施有無	あなたは、高齢者自身が描く将来像の実現をめざし、そのために必要なリハビリテーション等の機能強化等をケアプランに位置づける自立支援型のケアマネジメントを実施していますか。(〇はひとつ)	1 はい 2 いいえ	この設問は、自立支援・重度化防止に対する意識が介護支援専門員に浸透しているか、また、自立支援型ケアマネジメントの実施の有無を問う設問です。これを把握することで、介護支援専門員への自立支援に向けた理解やスキルアップの研修内容検討に活用することが可能になります。	地域包括支援センター職員や介護支援専門員等の専門職の、自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを支援する地域ケア会議の推進や研修内容検討に活用しています。					
							自立支援・重度化防止に対する意識が介護支援専門員に浸透しているか、また、実際の自立支援型のケアマネジメントを実施しているかを把握します。	ケアマネスキルアップ事業への応用					
60		(3) サービス内容と課題	問34-1	自立支援型ケアマネジメントの実施にあたって困難な点	自立支援型ケアマネジメントを実施するにあたって困難な点は何ですか。(〇はいくつでも)	1 高齢者自身の自立支援に関する理解不足 2 自立支援に資するインフォーマルサービスの不足 3 サービス提供事業所の理解が進まない 4 自身のアセスメント等の技量不足	この設問は、自立支援型のケアマネジメント実施にあたっての具体的な困難理由を問う設問です。これを把握することで、利用者及び介護支援専門員への自立支援に向けた理解を深める周知やスキルアップの研修内容検討に活用することが可能になります。	地域包括支援センター職員や介護支援専門員等の専門職の、自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを支援する地域ケア会議の推進や研修内容検討に活用しています。					
							自立支援型のケアマネジメント実施にあたっての課題を把握します。	ケアマネスキルアップ事業への応用					
61		(3) サービス内容と課題	問34-2	自立支援型ケアマネジメントを実施していない理由	自立支援型ケアマネジメントを実施していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)	1 高齢者から求められない・高齢者の希望と相容れない 2 自立支援ケアマネジメントが求められている理由がわからない 3 自身のアセスメント等の技量に自信がない 4 その他	この設問は、自立支援型のケアマネジメントが実施できない具体的な理由を問う設問です。これを把握することで、利用者及び介護支援専門員への自立支援に向けた理解を深める周知やスキルアップの研修内容検討に活用することが可能になります。	地域包括支援センター職員や介護支援専門員等の専門職の、自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを支援する地域ケア会議の推進や研修内容検討に活用しています。		2 自立支援型ケアマネジメントが求められている理由がわからない	他との文言調整「型」を追加。		
							自立支援型のケアマネジメントが実施できない理由を把握します。	ケアマネスキルアップ事業への応用					

NO.	新規設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
62		(3) サービス内容と課題	問35	自立支援型ケアマネジメント検討会議の参加有無	自立支援型ケアマネジメント検討会議に参加したことはありますか。(○はひとつ)	1 はい 2 いいえ	この設問は、自立支援型ケアマネジメント検討会議への介護支援専門員の参加の有無を問う設問です。これを把握することで、介護支援専門員全体のスキルアップを意識したケース選定検討方針に活用することが可能になります。	地域包括支援センター職員や介護支援専門員等の専門職の、自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを支援する地域ケア会議の推進や研修内容検討や今後のケース選定検討方針に活用しています。					
							自立支援型ケアマネジメント検討会議への参加状況を把握します。	ケアマネスキルアップ事業への応用					
63		(4) 支援困難な利用者への対応状況	問36	支援困難な利用者の有無	あなたが担当している利用者のなかに、様々な理由で支援が困難な方がいますか。(○はひとつ)	1 いる (人) 2 いない	介護支援専門員が担当する支援困難な方の有無を確認します。	計画策定の基礎資料 ケアマネジメントの質の向上や介護人材の確保について検討します。					
64		(4) 支援困難な利用者への対応状況	問36-1	支援困難の内容	どのようなことで支援が困難となっておりますか。(○はいくつでも)	1 家族の協力が得られないこと(家族間の不仲、理解不足等) 2 利用者の性格によるもの(不満や苦情が多い、介護支援専門員に攻撃的ななど) 3 経済的理由 4 利用者がサービスの利用を拒否すること(介護拒否) 5 利用者に認知症による諸症状があること 6 利用者が精神疾患のため不安定なこと 7 利用者に医療的な処置があること 8 家族の介護疲れや疾病、障がいによる介護力不足 9 利用者及び家族が介護予防的なケアプランを拒否すること 10 新型コロナウイルス感染症の影響で利用者のサービスの利用控えにより適切と考えるプラン作成に同意が得られない 11 その他	介護支援専門員が担当する支援困難な方の理由を確認します。	・計画策定の基礎資料 ・ケアマネスキルアップ事業内容の検討等	選択肢10を削除	新型コロナウイルス感染症に関する選択肢のため			
65		(4) 支援困難な利用者への対応状況	問37	支援困難事例の対応方法	あなたは支援が困難な方についてどのように対応してきましたか。(○はいくつでも)	1 事業所内の上司や同僚に相談した(している) 2 他の事業所の介護支援専門員に相談した(している) 3 地域包括支援センターに相談した(している) 4 地域包括支援センターに相談した結果、地域ケア会議の開催となった 5 地域包括支援センター以外の行政機関(区役所、市役所、府庁)に相談した(している) 6 見守り相談室に相談した(している) 7 区の居宅介護支援事業者連絡会等で相談した(している) 8 誰にも相談せず、自分で対応した(している) 9 その他	介護支援専門員が担当する支援困難な方への対応を確認します。	・計画策定の基礎資料 ・ケアマネスキルアップ事業内容の検討等					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択肢修正の理由	削除理由	備考
66		(4) 支援困難な利用者への対応状況	問38	認知症高齢者等へのケアプラン作成にあたっての困難	担当する認知症や障がい高齢者のケアプラン作成にあたって、特に困難を感じていることはありますか。(〇はいくつでも)	1 独居や近隣に家族がいないなど、利用者の状況について相談できる人がいない 2 認知症の症状が急変したときの対応 3 病気をもちの家族への対応 4 家族等介護者との意見の相違 5 サービス事業者や後見人利用等の手続き 6 介護支援専門員やヘルパーなどサービス従事者への妄想、受け入れ拒否 7 医療機関への受診や服薬管理 8 金銭管理の援助 9 着替え、髪型、歯磨き、爪切りなどの清潔保持 10 徘徊・暴力・異食など行動障がいに対する対応 11 幻覚、妄想、うつなど行動・心理症状への対応 12 近隣住民からの苦情 13 その他 14 特になし	介護支援専門員が担当する認知症高齢者や障がい高齢者のケアプラン作成にあたって困難に感じていることを確認します。	・計画策定の基礎資料 ・ケアマネスキルアップ事業内容の検討等					
67		(4) 支援困難な利用者への対応状況	問38-1	認知症高齢者等へのケアプラン作成にかかる課題解決の対応	問38の課題解決のために、どのような対応をしていますか。(〇はいくつでも)	1 主治医からの助言を得る 2 地域包括支援センターへの相談や地域ケア会議への参加 3 認知症初期集中支援チーム（通称「オレンジチーム」）へ相談 4 認知症地域支援推進員へ相談 5 認知症疾患医療センターへ相談 6 区役所への相談 7 サービス担当者会議での十分な意見調整 8 あんしんさぽーと事業や成年後見制度の利用 9 民生委員や地域組織の役員など近隣へ相談 10 権利擁護支援に係る専門職派遣（地域包括支援センター等を通じて大阪市成年後見支援センターに依頼）の利用 11 本人宅に支援ノートを置くなどサービス事業者間での情報共有 12 障がい者制度関係機関 13 その他 14 特になし	介護支援専門員が担当する認知症高齢者や障がい高齢者のケアプラン作成にあたっての課題への対応について確認します。	・計画策定の基礎資料 ・ケアマネスキルアップ事業内容の検討等					
68		(5) 高齢者虐待の状況	問39	高齢者虐待を受けている、または疑いがある人の有無	あなたが担当している利用者のなかに、高齢者虐待を受けている、または疑いがあると思われる方がいますか。(〇はひとつ)	1 いる 2 いない	この設問は高齢者虐待についての介護支援専門員の意識の程度を問う設問の導入となるものであり、次の高齢者虐待の通報義務に係る意識の程度を把握する設問に続いています。高齢者虐待の通報義務に係る意識の程度を把握することによって効果的な啓発方法及び対象者の検討が可能となります。なお、介護支援専門員及び関係事業者を対象とした調査において、他に同様の設問は存在せず、事業に関して介護支援専門員の高齢者虐待の通報義務に係る意識の程度を把握可能な物は、当該調査の当該設問以外にありません。	「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」において、国及び地方公共団体は高齢者虐待にかかると通報義務等について必要な広報その他啓発活動を行うこととされており、本市においては高齢者虐待防止の取り組みの推進事業において、広報及び啓発のための取組を進めています。設問により高齢者虐待の通報義務に係る意識の程度を把握し、事業の効果を一定測定し、見直しの検討が可能となります。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
69		(5) 高齢者虐待 の状況	問39-I	虐待の発見後、地域 包括支援センターな どへの相談（通報） 有無	高齢者虐待を発見した 後、区役所（保健福祉セ ンター）または地域包括 支援センターに相談（通 報）しましたか。（○はひ とつ）	1 はい 2 いいえ	この設問は高齢者虐待の通 報義務についての介護支援 専門員の意識の程度を問う設 問であり、高齢者虐待の通報 義務に係る意識の程度を把 握することで効果的な啓発方 法及び対象者の検討が可能 となります。なお、介護支援専 門員及び関係事業者を対象 とした調査において、他に同 様の設問は存在せず、事業に 関して介護支援専門員の高 齢者虐待の通報義務に係る 意識の程度を把握可能な物 は、当該調査の当該設問以外 にありません。	「高齢者虐待の防止、高齢者 の養護者に対する支援等に 関する法律」において、国及 び地方公共団体は高齢者虐 待にかかる通報義務等につ いて必要な広報その他啓発 活動を行うこととされており、 本市においては高齢者虐待 防止の取り組みの推進事業 において、広報及び啓発のた めの取組を進めています。設 問により高齢者虐待の通報義 務に係る意識の程度を把握 し、事業の効果を一定測定し、 見直しの検討が可能となりま す。					
70		(5) 高齢者虐待 の状況	問40	通報の義務の認知 度	虐待の疑いがある高齢者 を発見した場合、通報の 義務があることを知って いましたか。（○はひと つ）	1 はい 2 いいえ	この設問は高齢者虐待の 通報義務についての介護 支援専門員の認知度を 問う設問であり、認知度 を把握することで効果的 な啓発方法及び対象者 の検討が可能となりま す。なお、介護支援専門 員及び関係事業者を対 象とした調査において、 他に同様の設問は存在 せず、事業に関して介護 支援専門員の高齢者虐 待の通報義務に係る認 知度を把握可能な物は、 当該調査の当該設問以外 にありません。	「高齢者虐待の防止、高齢者 の養護者に対する支援等に 関する法律」において、国及 び地方公共団体は高齢者虐 待にかかる通報義務等につ いて必要な広報その他啓発 活動を行うこととされており、 本市においては高齢者虐待 防止の取り組みの推進事業 において、広報及び啓発のた めの取組を進めています。設 問により高齢者虐待の通報義 務に係る認知度を把握し、事 業の効果を一定測定し、見直 しの検討が可能となります。					
71		(5) 高齢者虐待 の状況	問40-I	虐待の発見後、相談 （通報）しなかった 理由	相談（通報）しなかった理 由は何ですか。（○はいく つでも）	1 利用者や家族との関係が 悪化することを避けたかった 2 相談（通報）することて契約 を解除されることをおそれた 3 家族の問題なので介入して はいけないと思った 4 家族が頑張って介護を行っ ているので、家族の思いをくん でしまい相談できなかった 5 その他	この設問は介護支援専門員 が通報義務があるにもかかわらず 高齢者虐待の通報を行わ なかった理由を問う設問であ り、通報を妨げる理由を把握 することで誤解や知識の偏り 等を分析し、効果的な啓発方 法及び対象者の検討が可能 となります。なお、介護支援専 門員及び関係事業者を対象 とした調査において、他に同 様の設問は存在せず、事業に 関して介護支援専門員の高 齢者虐待の通報を妨げる理 由を把握可能な物は、当該 調査の当該設問以外にありま せん。	「高齢者虐待の防止、高齢者 の養護者に対する支援等に 関する法律」において、国及 び地方公共団体は高齢者虐 待にかかる通報義務等につ いて必要な広報その他啓発 活動を行うこととされており、 本市においては高齢者虐待 防止の取り組みの推進事業 において、広報及び啓発のた めの取組を進めています。設 問により高齢者虐待の通報義 務に係る意識の程度を把握 し、事業の効果を一定測定し、 見直しの検討が可能となりま す。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
72		(5) 高齢者虐待 の状況	問4-1	関係事業者の通報 の義務の認知度	あなたが関係する介護 サービス事業者は、虐待 の疑いがある高齢者を発 見した場合、通報の義務 があることを知っているか と思いますか。(○はひとつ)	1 知っている 2 やや知っている 3 あまり知らない 4 知らない	この設問は介護関係事業 者と密接に関与する介護 支援専門員の主観として 介護関連事業者の高齢 者虐待の通報義務につ いての認知度を問う設問 であり、介護関連事業者 の認知度を把握すること で効果的な啓発方法及 び対象者の検討が可能 となります。なお、直接的 に介護関係事業者を対 象とした同様の調査は存 在しません。	「高齢者虐待の防止、高齢者 の養護者に対する支援等 に関する法律」において、国及 び地方公共団体は高齢者虐 待にかかる通報義務等につ いて必要な広報その他啓発 活動を行うこととされており、 本市においては高齢者虐待 防止の取り組みの推進事業 において、広報及び啓発のた めの取組を進めています。設 問により高齢者虐待の通報義 務に係る認知度を把握し、事 業の効果を一定測定し、見直 しの検討が可能となります。					
73		(6) 居宅介護支 援業務全般につ いて	問4-2	仕事の満足感	あなたは、ご自身の仕事 に満足感を感じています か。(○はひとつ)	1 感じている 2 やや感じている 3 あまり感じていない 4 感じていない	この設問は仕事の満足度 について主観的に問う設 問です。 在宅医療の充実に向け た課題の把握が可能に なります。	事業の進捗管理を行うた めの評価指標として活用 します。					
74		(6) 居宅介護支 援業務全般につ いて	問4-3	レベルアップのため に現在行っている取 組み	自分の介護支援専門員 業務のレベルアップのた めに、現在どのような取 組みを行っていますか。 (○はいくつでも)	1 自主的な勉強会を行って いる 2 居宅介護支援事業者連絡 会等に参加している 3 ケースカンファレンス等で 具体的な検討をし、助言を受 けている 4 法人内の研修に参加してい る 5 外部研修に参加している 6 参考書等を読んでいる 7 自立支援ケアマネジメント 会議に積極的に参加している 8 その他	レベルアップの取組を確 認します。	・計画策定の基礎資料 ・ケアマネスキルアップ事 業内容の検討等					
75		(6) 居宅介護支 援業務全般につ いて	問4-3-1	レベルアップのため の今後の取り組み	問4-3の取り組みのうち、 現在は行っていないが、 今後始めたいと思っている 取り組みはありますか。 (○はいくつでも)	1 自主的な勉強会を行いた い 2 居宅介護支援事業者連絡 会等に参加したい 3 具体的な検討・助言を得ら れるケースカンファレンス等 を行いたい 4 法人内の研修に参加した い 5 外部研修に参加したい 6 参考書等を読んで知識な どを増やしたい 7 その他	レベルアップの取組を確 認します。	・計画策定の基礎資料 ・ケアマネスキルアップ事 業のニーズ調査					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選択 肢修正の理由	削除理由	備考
76		(6) 居宅介護支援業務全般について	問44	業務を行ううえでの課題	介護支援専門員業務を行ううえで、課題として考えているのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)	1 介護保険サービス、大阪市の介護保険外サービスの課題が少ない 2 サービス事業所に関する情報が少ない 3 利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない 4 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない 5 多くの問題を抱えている利用者へのケアマネジメンツの手法がわからない 6 認知症ケアの方法がわからない 7 医療機関等、他の施設分野との連携がうまくとれない 8 地域包括支援センターとの連携がうまくとれない 9 区や市との連携がうまくとれない 10 相談できる人が身近にいない 11 同じ顧客母体のサービス事業所が提供するサービスに偏る 12 記録と書類の量が多く負担となっている 13 利用者へ介護保険制度が十分理解できていない 14 介護保険サービスを組み込まないインフォーマルサービス等だけのケアプラン調整が介護報酬で評価されない 15 要介護認定結果がでるまでの「暫定ケアプラン」調整について、「要支援」の認定が出た際には介護報酬で評価されない 16 感染症対策 17 その他	削除検討設問					事業の進捗管理を行う上で活用しないため。	
77		(6) 居宅介護支援業務全般について	問45	地域包括支援センターへ期待する役割	あなたは地域包括支援センターにどのような役割を期待していますか。(〇はいくつでも)	1 業務全体に対するスーパーバイズ 2 困難事例に対する助言、支援 3 地域ケア会議の開催 4 専門性向上のための研修の開催 5 介護支援専門員同士のネットワークの構築 6 関係機関のネットワークの構築 7 その他	この設問は、介護支援専門員の後方支援を行う地域包括支援センターに期待する役割を問う設問です。これを把握することで、介護支援専門員連絡会議や研修会等の実施内容検討に活用することが可能となります。						
78		(6) 居宅介護支援業務全般について	問46	地域包括支援センター・区役所等の連携	地域包括支援センター・区役所（保健福祉センター）と連携するときにはどのような場合ですか。(〇はいくつでも)	介護支援専門員調査_調査票 P25 参照	この設問は、具体事例に対して、地域包括支援センターと区役所のどちらと連携するかを問う設問です。これを把握することで、地域包括支援センターと区役所間での役割分担に関する検討に活用することが可能となります。	地域包括支援センターとその後方支援の役割も担う立場である区役所との、役割分担や連携に関する検討に活用しています。					
79		(6) 居宅介護支援業務全般について	問47	地域包括支援センター・区役所等の連携における課題・問題点等（自由記述）	地域包括支援センター・区役所（保健福祉センター）と連携を図るうえでの課題や問題点等があれば、ご自由にご記入ください。	（自由記載）	【地域包括支援センター】 この設問は、介護支援専門員が感じる、地域包括支援センターとの連携における課題や問題点を問うものであり、これを把握することで、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の向上に繋げることが可能となります。	【地域包括支援センター】 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務において、介護支援専門員への個別指導・相談対応等、後方支援を行うにあたり、効果的な支援を行うために活用しています。					
80	○	ケアラー（ヤングケアラーは含まない）に関すること		ケアラーに関すること	あなたが担当する高齢者を介護する人は、育児（未就学児）を行っていますか。	1 はい 2 いいえ	近年、晩婚化・晩産化を背景に広がっているダブルケアの課題について、本市の状況を把握するため。	把握した状況から、その対応内容の検討等に資する基礎資料とするため。					

NO.	新規 設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	質問内容修正案	回答選択肢修正案	質問内容及び回答選 肢修正の理由	削除理由	備考
81	○	ケアラー（ヤング ケアラーは含まな い）に関すること	NO.80の枝番	ケアラーに関するこ と	育児も行っている方に対し、どのような支援を行いましたか。（○はいくつでも）	1 こどもの相談窓口を紹介 2 地域包括支援センターに連携 3 レスバイトサービスを紹介するなど、ダブルケアの生活を見据えたサービス調整 4 その他	近年、晩婚化・晩産化を背景に広がっているダブルケアの課題について、本市の状況を把握するため。	把握した状況から、その対応内容の検討等に資する基礎資料とするため					
82		(7) ヤングケア ラーに関すること	問48	18歳未満の介護者 の有無	あなたが担当する高齢者を18歳未満の親族や家族の方が介護していますか。	1 はい 2 いいえ	ヤングケアラーの実態を把握するため。	ヤングケアラーの実態を把握し、特養の特例入所の要件を検証することができます。					
83		(7) ヤングケア ラーに関すること	問48-1	18歳未満の介護者 が行っている介護内 容	18歳未満の方が、高齢者に対して行っている介護は何ですか。（○はいくつでも）	1 見守り、声かけ 2 食事の介助 3 調理・掃除・洗濯などの支援 4 コミュニケーション支援 5 外出するときの介助 6 入浴するときの介助 7 排泄の介助 8 着替えの介助 9 通院先での介助 10 入院先での介助 11 医療的ケア 12 その他	ヤングケアラーの実態を把握するため。	ヤングケアラーの実態を把握し、特養の特例入所の要件を検証することができます。					
84		(7) ヤングケア ラーに関すること	問48-2	18歳未満の介護者 と一緒に介護してい る人	18歳未満の方はだれと介護していますか。（○はひとつ）	1 ひとりでしている 2 家族・親族としている	ヤングケアラーの実態を把握するため。	ヤングケアラーの実態を把握し、特養の特例入所の要件を検証することができます。					
85		(7) ヤングケア ラーに関すること	問48-3	18歳未満の介護者 の通学状況	高齢者を介護している18歳未満の方は、学校などに通学していますか。（○はひとつ）	1 通学している 2 通学していない	ヤングケアラーの実態を把握するため。	ヤングケアラーの実態を把握し、特養の特例入所の要件を検証することができます。					
86		(7) ヤングケア ラーに関すること	問48-4	18歳未満の介護者 が介護をする頻度	18歳未満の方が高齢者を介護する頻度はどの程度ですか。（○はひとつ）	1 ほぼ毎日 2 週1～2日 3 週3～5日 4 1か月に数日 5 その他	ヤングケアラーの実態を把握するため。	ヤングケアラーの実態を把握し、特養の特例入所の要件を検証することができます。					
87		(7) ヤングケア ラーに関すること	問48-5	18歳未満の介護者 の一日あたりの介 護時間	18歳未満の方が、高齢者の介護に費やす時間は一日あたりどの程度ですか。（○はひとつ）	1 1時間未満 2 1時間以上3時間未満 3 3時間以上6時間未満 4 6時間以上8時間未満 5 8時間以上	ヤングケアラーの実態を把握するため。	ヤングケアラーの実態を把握し、特養の特例入所の要件を検証することができます。					
88		(7) ヤングケア ラーに関すること	問49	18歳未満の介護者 を見かける場合の 相談先	18歳未満の方が、高齢者の介護をしている姿をよく見かけることがあるときに、相談できるところを知っていますか。（○はいくつでも）	1 子どもが通う学校 2 民生委員・児童委員 3 各区役所にある子育て支援室 4 その他 5 特になし	ヤングケアラーの実態を把握するため。	ヤングケアラーの実態を把握し、特養の特例入所の要件を検証することができます。					
89		(8) 介護保険制 度についての意 見要望等	問50	行政に対する期待	今後行政に期待する役割は何ですか。（○はいくつでも）	1 相談機能の充実 2 研修の充実 3 サービス基盤の充実 4 情報提供の充実 5 その他	削除検討設問					計画策定に特に必要ないため。	
90		(8) 介護保険制 度についての意 見要望等		介護保険制度につ いてのご意見・ご 要望（自由記述）	介護保険制度について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。	（自由記載）							

(5) 介護支援専門員調査 No.43選択肢
(ACP(人生会議)の実施状況)の実施における課題)

	1 思う	2 やや思う	3 あまり 思わない	4 思わない
① 実施するきっかけやタイミング	1	2	3	4
② 実施した内容を多職種間で情報共有する場	1	2	3	4
③ 医療従事者の知識の習得・向上の機会	1	2	3	4
④ 介護従事者の知識の習得・向上の機会	1	2	3	4
⑤ 情報共有ツール(シート)の統一	1	2	3	4
⑥ 診療報酬・介護報酬の評価	1	2	3	4
⑦ 本人やご家族等への相談窓口や支援	1	2	3	4
⑧ 市民に対するACPに関する情報提供	1	2	3	4
⑨ その他()	1	2	3	4